

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【公開番号】特開2013-81513(P2013-81513A)

【公開日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-022

【出願番号】特願2011-221661(P2011-221661)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

遊技領域に遊技球を発射し、当該遊技領域に設けられた入賞口への遊技球の入賞に基づき、所定の遊技球を払い出す遊技機が知られている。このような遊技機として、入賞口に設けたセンサからの遊技球の検出信号が、遊技を統括的に管理する遊技制御装置に入力され、遊技制御装置が装置を制御する払出制御装置に対して入賞口に対応する数の遊技球を払い出す指令を送信し、払出制御装置が遊技制御装置からの指令に基づき装置を制御して所定数の遊技球を払い出すように構成された遊技機が開示されている(例えば特許文献1参照)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

この特許文献1の遊技機では、遊技制御装置のバックアップ領域に保存されているバックアップフラグに基づいて、自身をRAMクリアするかを判断しているだけであった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2004-73515号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら特許文献1の遊技機では、遊技制御装置のバックアップフラグさえ正常であれば電力供給停止前の未払出賞球数を正しいものとしていたので、払出制御装置側に不正が行われた場合にもそのまま動作を継続してしまうおそれがあった。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の目的は、遊技機に不正が行われた場合に、遊技店が不測の不利益を被るのを回避できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、遊技を統括的に制御する遊技制御装置と、

前記遊技制御装置からの指令に基づいて遊技価値を付与する制御を行う払出制御装置と、

遊技機外部から供給される定格電圧から所定の電源電圧を生成して前記各制御装置に供給する電源装置と、を備える遊技機において、

前記遊技制御装置は、

電源電圧が所定の電圧に低下したことにに基づいて、自身のデータを記憶保持するための処理を行う第1記憶保持手段と、

前記払出制御装置と相互認証を行う第1相互認証手段と、を備え、

前記払出制御装置は、

電源電圧が所定の電圧に低下したことにに基づいて、自身のデータを記憶保持するための処理を行う第2記憶保持手段と、

前記遊技制御装置と相互認証を行う第2相互認証手段と、を備え、

前記遊技制御装置および前記払出制御装置は、

電源遮断状態からの復帰後、前記第1相互認証手段または第2相互認証手段において正当性が確認されなかった場合は、ともに記憶保持されたデータを破棄する初期化処理を行うことを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 1 に記載の発明によれば、遊技機に不正が行われた場合に、遊技店が不測の不利益を被るのを回避できる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、遊技機に不正が行われた場合に、遊技店が不測の不利益を被るのを回避できる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を統括的に制御する遊技制御装置と、

前記遊技制御装置からの指令に基づいて遊技価値を付与する制御を行う払出制御装置と

、
遊技機外部から供給される定格電圧から所定の電源電圧を生成して前記各制御装置に供給する電源装置と、を備える遊技機において、

前記遊技制御装置は、

電源電圧が所定の電圧に低下したことにに基づいて、自身のデータを記憶保持するための処理を行う第1記憶保持手段と、

前記払出制御装置と相互認証を行う第1相互認証手段と、を備え、

前記払出制御装置は、

電源電圧が所定の電圧に低下したことにに基づいて、自身のデータを記憶保持するための処理を行う第2記憶保持手段と、

前記遊技制御装置と相互認証を行う第2相互認証手段と、を備え、

前記遊技制御装置および前記払出制御装置は、

電源遮断状態からの復帰後、前記第1相互認証手段または第2相互認証手段において正当性が確認されなかった場合は、ともに記憶保持されたデータを破棄する初期化処理を行うことを特徴とする遊技機。